

## 【大学間協定留学】留学近況報告書

記入日	2025年 3月 16日
留学先大学/国名	シドニー工科大(日本語名) 国名:オーストラリア University of Technology Sydney(現地言語名)
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称:  <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
留学期間	2025年2月～2025年7月
明治大学の所属学部等 ※学部・学科・研究科・専攻等	経営学部経営学科
学年 ※出発時の本学での学年	2年生

**I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。**

主に先輩の留学報告書を参考にしました。同じ UTS に留学していた先輩の報告書はもちろん、他の大学であってもオーストラリアに行った先輩のものは一通り見て、状況と雰囲気、持ち物や注意事項を確認しました。また、親に伝える予算も報告書を参考にしました。授業の難易度や現地の生活については、座談会で知り合った先輩や明治大学のイベントを通して知り合った UTS に通っているオーストラリアの友人から情報を得ていました。

準備をしておいて良かったことはオージーイングリッシュです。スラングやアクセントなどを日常で少しつかえるだけでオーストラリア人と話が盛り上がります。また、明治大学に入学してから英語圏を含め複数回海外旅行に行ったため、感謝に対する返答の仕方やバスの使い方に関する日本との違いなどを知っていたことも良かったことの 1 つです。他にも明治大学で履修した第二外国語の中国語をしっかりと学習していたため中国語話者と日常会話をするくらいには上達しました。中国語を話す人と一気に距離が縮まるので、第二外国語を手を抜かず学習することもおすすめです。

一方準備が足りなかったことは英語の学習です。留学のためにアイエルツ 6.5 を取得して英単語の学習を中心に継続していたものの、ネイティブの日常会話は試験と違って容赦なく、特にスラングの意味が分からなかったり、また思ったことが思ったように言語化できなくてもどかしく感じたりすることが多々あります。オーストラリアはどの人が留学生なのかの見分けがつかないほど様々な国の人がいるため、アクセントも多様です。様々なアクセントに少しでも慣れておかないと日々のリスニングに困ると思います。授業は先生の話聞く時間よりも学生同士のディスカッションの時間がほとんどを占めるため、他の人の意見を聞いて理解できるリスニング力、それに対する自分の考えを発表できるスピーキング力が必要です。またライティングも授業の課題で 1000 から 2000 ワードの文を書かされることがあり、テストでも日本のような客観式の問題よりもその場で考えて書くものが多く、短時間で意見をまとめて仕上げる必要があります。よって英語力を全般的にもっと鍛えておけば良かったと感じます。英語力の中でも全てに共通して根底にある単語力が一番重要だと日々実感しています。

## II-1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ) ※詳細に記入して下さい

ビザの種類: subclass 500	申請先: Australian Government Department of Home Affairs
ビザ取得所要日数: 0 日(1 分以内にメールが来てビザが取れました) (申請してから何日/ 何週間要したか)	ビザ取得費用: AUD \$ 1,600
<b>1. ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか? また、どのように手配しましたか?</b>	
<p>パスポートのカラーコピー、オーストラリア政府指定の保険(OSHC)、入学証明書(CoE)、英文在学証明書、アイエルツの成績表など。場合によっては追加で英文残高証明書などを提出する必要もあるようです。申請をするためのすべての書類が揃うのは 11 月の末頃だったので、何が必要なのか、何をビザで求められるのかを前もって入念に調べ、ビザ申請のためのアカウント作成や在学証明書の取得など気軽に出来るものは思い立ったときに都度やることをおすすめします。</p>	
<b>2. 具体的な申し込み手順を教えてください。</b>	
<p>申し込みはすべてインターネット上で行われます。アカウントの作成から始まり、必要な書類をアップロードしたり、質問にチェックを入れたりと意外に長い申請でした。複数のサイトを調べてそれに乗っ取って行いました。2023 年のサイトには今の手続き方法の記載がないため、情報は少なかつたですが、間違えて申請すると面倒になりそうだったので慎重に行いました。最後には支払いがありますが、日本円で約 16 万円と高額なため、お金の用意も必須です。</p> <p>私は主に以下のサイトを見ながら進めました。それでも分からないところもありましたが、すでにビザを取得した友人に聞いたり、ピンポイントでネットで検索したりして対処しました。</p> <p><a href="https://tabiken-ryugaku.co.jp/au/manual/studentvisa/">https://tabiken-ryugaku.co.jp/au/manual/studentvisa/</a></p>	
<b>3. ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか?</b>	
面接なし	
<b>4. ビザ取得に関して困った点・注意点</b>	
<p>2024 年からビザの申請に Genuine Student requirement という英文を書くことが求められるようになりました(参照: <a href="https://ryugaku-au.net/information/20240323-aus-visa-change-rule/">https://ryugaku-au.net/information/20240323-aus-visa-change-rule/</a>)。4 つの質問に対してそれぞれ 1000 文字の英語で回答することが求められ、手を抜くと落とされることもあるようだったので英語の文法・単語のミスはもちろん内容面を特に重視して、4 つの内容の齟齬や論理の一致に注意しながら書き上げました。予め用意してコピーをしないと時間制限がきてしまうので、注意が必要です。他にも今まで行ったことがある国や期間、目的などの詳細を回答する必要があったり、英文在学証明書を求められたりと、数日で終わらせられるようなものではありませんでした。3 万円ほど払えば業者に依頼できて全てやってくれるようでした。しかしそれでも審査に通らないリスクがあることとお金を鑑みて、自分でやることに決めましたが、追加で必要な書類がどんどん出てきたので早めに調べて準備することをおすすめします。</p>	

## Ⅱ-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備、携帯電話購入、荷物運送等)。

### 1.現金

クレジット、デビットカードの準備が現金の用意よりも大切です。私は日本でも普段から現金を持ち歩かないため、キャッシュレス決済が浸透しているオーストラリアではカードのみで生活しています。日本から念のため 5 万円持参しましたが、今のところ両替すらしていません。他の方の留学報告書から、割り勘などで現金を使うとありましたが、自分は全く困っていません。また、他の方の体験談から、カードで決済するときに情報を抜かれることがあることを知っていたため、基本的にすべて Apple Pay で支払うようにしています。財布を持たなくてよいので私にとってはとても快適です。バス、電車もタッチ決済で乗ることが出来て便利です(そもそも切符がありません。opal カードという日本のパスモのようなものもしくはクレジット、デビットカードのタッチ決済しか支払えません。)。クレジットカードは普段使いするものと遊び・娯楽で使うものの 2 枚に分け、支出が多くなりすぎないように工夫しました。

### 2.荷物

私はスーツケース 2 個と明治大学に通学するときに使っていたリュックサック、旅行やお出かけ用の小さめのバックを 1 つずつ持って行きました。お土産を購入したり、その他色々買ったりすることを見越して、スーツケースは大きめのもので行きました。スーツケースは空港でなくなっていくなりラブルになることを避けるために、エアタグをそれぞれ入れて行きました。

### 3.持ち物

いろいろな人が言っているとおり、紫外線が強すぎるために日焼け止め、サングラスは必須です。また、海外の人は玄関で靴を脱ぐ習慣がなく土足で生活をするのですが、日本人の私にとってお風呂上がり以外で履いている靴と同じものを履くのは抵抗があるので、靴 2 足の他に、室内用のサンダルと屋外用のサンダルの計 4 足もって行きました。ビーチサンダルだとお風呂上がりの濡れた足でも乾きが良く、快適に使えています。海外の洗濯機は威力が強く、服の痛みが速い気がするので、洗濯ネットをもって行くこともおすすめです。高額ですがすべてシドニーで買えるので、日本から持って行けば良かったものはありません。しかし、常備薬は日本からの持参がおすすめです。体に合うか分からないため副作用などの心配をすることは体調が優れないなかでは大変です。また、海外の錠剤は大きくそれを飲み続けることもしんどいです。さらに、乗り物酔いがひどい方は酔い止めを多めに持っていくのが良いです。シドニーのバスは運転手を問わず急ブレーキが多いため、大きく揺れることが多いです。私は常備薬の他にもサプリメントを持参して日々の栄養不足を補っています。授業では毎週読んでくるように言われる事前課題があります。その際、本や記事は全てオンラインで配布されるため、パソコンやタブレット端末が必要です。私はパソコンの他に iPad も持って行きましたが、書き込みが気軽に出来て非常に便利です。私以外の多くの学生は授業中タブレット端末でなくパソコンを開いているため、必須ではありません。また、アイエルの単語帳も持って行きました。カジュアルな単語ではなく、アカデミックなものが載っているため、日々のディスカッションの授業やレポート作成などに役立っています。

## Ⅲ. 現地到着後のながれ

## 1. 到着時の様子

利用航空会社	JAL				
航空券手配方法	Gotogate ※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入				
大学最寄空港名	シドニー国際空港	現地到着時刻	AM6:50		
キャンパスへの 移手段	<input type="checkbox"/> 大学手配 の出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の 出迎え	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 ( <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input checked="" type="checkbox"/> タクシー	<input type="checkbox"/> その他 ( )
移動の所要時間	30分				

## 空港からキャンパスへの移動の際の注意点、タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方、料金等

シドニーに着いてからウーバーをスマホから予約し、列に並んで運転手に番号を伝えることで行ってくれるシステムでした。初めてのウーバーのやり方に戸惑ったり、日本と違って自分でスーツケースをトランクに積んだりといきなりびっくりすることもありました。しかし日本と同じ右ハンドルであり、また速度制限もそこまでスピードを出すようには設定されていなかったため怖さは感じなかったです。ウーバーは事前に日本で登録しておくことをおすすめします。

バスについて、私は学校まで 40 分ほど乗っていくのですが時間通りに来ないことが多いです。また合図をしないと乗れません。さらに次の停留所の案内がないため初めての場所に行くときは常にマップを見ないとけません。一方電車は時刻通りに来ることが多く、さらに席数も多くて案内もあり快適です。しかしストライキで一日中運行中止に当たったことがあるため注意が必要です。

大学到着日	2月4日 11時頃
-------	-----------

## 2. 住居について

到着後すぐに住居 入居できましたか?	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方: 月 日から入居可能だった。
住居のタイプ	<input type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input checked="" type="checkbox"/> その他(ホームステイ)	
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他( )	
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input checked="" type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input checked="" type="checkbox"/> その他(ホストファミリー、中国からの留学生 2人)	
住居を探した方法	<input type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input checked="" type="checkbox"/> 自分で探した <input type="checkbox"/> その他( )	
住居の申込み手順	UTS がおすすめしているホームステイエージェントが 3 つあったのですべてに登録しましたが、返信がきたのは 2 つで、そのうち 1 つは連絡方法が定まっていなかったり、複数の担当から別々に請求書が来たりと、不信感があったので StudyVision という会社を使って行いました。連絡は Whatsapp と Gmail で行われ、返信が早く、丁寧で信頼できました。支払いはカードで 4 週間分を一括で払えるため、こちらで銀行口座を開設する必要もありません。	

## 住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか? トラブルはありましたか?

明治大学の留学報告書から、UTS の寮の申込みが先着順だと思っていたため現地時間に合わせてスマホとパソコンの 2 台で登録をしましたが、後日抽選に落ちましたとのメールが届き焦りました。先着ではなく、抽選で決まるようで、特に最も安い 6 人のタイプは倍率が高いようです。そこから UTS がプラットフォームを提供しているシェアハウスのサイトを使って自分で調べたりメッセージを送ったりしていましたがうまくいかず、金額も安くなかったので諦めました。そこで先輩の留学報告書を参考にホームステイの StudyVision に決めました。StudyVision をお願いしてからは特に大きなトラブルなく、順調に進めることが出来ました。また、ホストファミリーの電話番号をあらかじめ知らされたので、WhatsApp を使って事前にホストファミリーと連絡を取ることができ、実際にやりとりをすることで安心しました。前日には最終確認の連絡があったことも良かったポイントです。周りにいる日本人留学生の多くは scape などのシェアハウスを利用しているようです。

3. 留学先でのオリエンテーションについて	
オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
日程	2/3(オンライン)、2/11(対面)
参加必須ですか?	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 <input checked="" type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は?	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input checked="" type="checkbox"/> 有料(金額: AUD \$ 10-20)
内容と様子は?	<p>オンラインは zoom を使って行われ、複数の担当者がスケジュールの確認やサポートサービス、注意事項などを説明するものでした。対面は留学生を対象としており、イベントの紹介や安全面の注意事項を説明されました。アイスブレイクの時間もあり、他の学生と交流する時間が設けられていました。そこで留学生のみの Whatsapp グループを作ってくれて自由に意見交換が出来るようになっています。</p> <p>その他 Oh-o! Meiji のような UTS のポータルサイトで事前にオーストラリアの文化や習慣を学ぶ必要がありました。また、オーストラリアでは性暴力に対して日本以上に厳しい目が向けられており、これに関することはテスト形式になっていて事前に受けるように指示されていました。</p> <p>任意参加のものですが、日本からキャンパスツアーと図書館ツアーを申し込んで行きました。キャンパスツアーは少人数で多くのグループに分かれていくため、そこでベトナム人とバングラデシュ人と仲良くなりなした。ガイドしてくれるのも UTS の学生なので年齢も近く、質問や相談がしやすいです。シドニーのおすすめ観光スポットなどもよく知っていて親切に教えてくれます。他にも効果的なプレゼンの仕方のガイドや明治大学の新歓のようなものがあり、無料のイベントも多く、有料のものでも AUD \$ 10-20 ほどで申し込めます。自分の興味があるものだけを選んで参加すれば良いので、同じ関心をもった人と話して仲良くなる事が出来ます。</p>
留学生用特別ガイダンス	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
授業開始日	2月17日から

#### IV. その他、渡航してから必要な手続きについて

##### 1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？ いつ、どこで、方法は？ 日数、料金は？ トラブルは？

特になし

##### 2. その他現地でした手続きは(健康診断、予防接種等)？ いつ、どこで、方法、日数、料金は？ トラブルは？

学生証の受取を行いました。事前に日本から写真を送っていたため、パスポートを提示するだけで受け取れました。学生証は年齢確認としては使えませんが、美術館、博物館などの施設で無料、割引などの優遇を受けられます。

##### 3. 現地で銀行口座を開きましたか？ 手続方法、必要書類、日数、料金は？ トラブルは？

口座開設はしていません。学生ビザの規定上、決められた時間内ならアルバイトをすることが出来ますが、その場合には口座開設が必要になります。

##### 4. 現地で携帯電話を購入しましたか？ 手続方法、必要書類、日数、料金は？ トラブルは？

携帯電話は購入していません。自分は通信が遅いことと残りのギガを心配しながら生活することがストレスなので、割高ではありますが Holafly の 90 日で無制限、2 万円弱の eSim を購入しました。しかしこれに電話番号がついていないことにシドニーに着いて少し使用してから気がつき、慌てて返金を求めました。取り扱いが eSim のみの実店舗がないことをそのときに知り焦りましたが無事に返金され、今は Optus という会社の eSim を使用しています。学生だと 1 ヶ月 100 ギガで AUD \$ 39 のプランを購入出来ます。その際にオーストラリアの学生かどうかの確認とパスポートの提示を求められます。学生証を受け取っていないなくても大学のポータルサイトにアクセス出来ることを見せれば学生として証明することが出来ます。電話番号がないと周りの人とのコミュニケーションツールが限られたり、学内サイトにアクセス出来なかったりと不都合なので、電話番号付きのものをおすすめします。

#### V. 履修科目と授業について

##### 1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？

出発前に(12 月 3 日頃)

オンラインで登録  志願書類に記入して登録  できなかった  その他( )

到着後に( 月 日頃)

オンラインで登録  国際オフィス等の仲介  できなかった  その他( )

##### 登録時に留学生として優先されることはありましたか？

あった  なかった

##### 優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

##### 優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？

履修登録は明治大学のやり方に概ね似ていますが、抽選はなくすべて先着順であったため、現地時間の履修登録開始に合わせて行いました。留学生用の科目一覧を確認した上で選択出来る授業と出来ない授業を見分ける必要があります。同じ名前の授業でも時間や曜日、担当の先生が違っていたので、自分が良いように履修登録を行いました。

##### 2. 出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？ また希望通りの授業が取れましたか？

最初のオンラインガイダンスの中で、授業が始まってから 2 週間以内であれば変えられると説明がありました。履修しようと考えていた科目が他の授業の単位を取得していないととれないものがあり、困惑しました。

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入							
	月	火	水	木	金	土	日
5: 00							
6: 00							
7: 00	ランニング		ランニング		ランニング		
8: 00			—	起床			
9: 00			ランニング			火土日は遊びに行くか	たまに暇なときは
10: 00					自習	パーティーが多いです	追加課題をやって
11: 00	授業 1Lec		自習	授業 4Lec	—		ゆっくり過ごします
12: 00	12:30 まで		—		自習		
13: 00	授業 2 Tut		—				
14: 00	14:30 まで		—	授業 5Tut	学内英会話		
15: 00	15:30 から		—	15:30 まで	学内英会話		
16: 00	授業 3Tut		自習				
17: 00				17:30 から			
18: 00				授業 6Tut			
19: 00							
20: 00	自習	自習	自習	自習	自習		
21: 00	—	—	—	—	—		
22: 00	自習	自習	自習	自習	自習		
23: 00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝		
24: 00							

## VII. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般について等、自由に書いてください。

### 1. 全体的な感想

良い点: シドニーは緑が多くて空気は綺麗、人は優しくて全体的にフリーで個性豊か、朗らかな地域です。私のホストファミリーは父、母それぞれ母国が異なりそれぞれ異なった宗教を信仰しています。国籍、母国はもちろん、肌、目、髪の色や宗教、文化的な背景が違ってもお互いが尊重しあって生活しています。日本を含む他の国と比較しても道がきれいで街中にゴミ箱が設置されているため全体的に清潔感があります。広大な敷地で東京のような窮屈さがなく、2月の日中は30度を超えますが、19時を過ぎても明るく外出も危ない様子はありません。もちろん軽犯罪はどこも国、地域にもあるため一概には言えませんが、安全であるといえます。また、水道水を飲めたり、トイレトーパーを流せたりと配管も整備されているので日本人にとっては不自由ありません。食事でもアジア料理や日本食レストラン、アジアの食品をメインに扱ったスーパーマーケットなどが多くあるため、割高ですが困ったならなじみのある味に戻れます。さらにAUD \$1が約100円のため、アメリカドルに比べて計算が楽なことも私にとっては良いポイントです。

悪い点: 私の家だけかも知れませんが、日中は一切電気をつけません。日当たりが良い家ではありますが、スマホの充電などを除いて電気をつけず、自室にはクーラーも扇風機もないので夏を過ごすのは精神的にも体力的にも大変です。ホストファミリーは今の家はクーラーや暖房をつけないしそもそもない家庭もあると言っていました。また、留学エージェントからも予め言われていたのですが、オーストラリアの水不足によりシャワーは1人1日10分までで洗濯は週に2回までです。洗濯は私の家のルールかも知れませんが、多めに服を持って行くか、現地で調達するのが良いです。良い点で述べた水に関して、おそらくシドニーは日本に比べて水が硬く、飲んだら違いが明らかに分かるほどです。シャワーを浴びた後はびっくりするくらい髪がキシキシします。さらに、虫の量が多いことが私には大きなストレスです。入居時に自分の部屋のカーペットに10匹ほどのハエが横になっていました。生きているハエも毎日数え切れないほど見ます。家の周りにスプレーを撒いているとのことで室内ではゴキブリに遭遇せずに生活していますが、それでも街中の夜にはネズミも含めて多く見ます。また衝撃的だったのはハンツマンという人の顔以上の大きさにまで成長する蜘蛛がいることです(私を含む虫嫌いの方にとっては結構衝撃的な見た目なので調べない方が良いでしょう)。自然が多いシドニーには仕方がないのですが、私のように蟻やダンゴムシすら触れないような虫嫌いには生活しにくい環境です。

### 2. 授業

前提としてオーストラリアは学生ビザの規定上、授業全体の80%以上出席することと、多くの場合学期ごとの取得上限まで単位を入れて履修登録をすることが義務づけられていて規定を守らないとビザ取り消しの可能性があるため、授業をサボって遊びに行くなどの感覚はありません。また私が取っている4つの授業のうち、2つは先生の話や90分間聞いた後に休み時間を挟んで、90分間生徒同士で議論し合う形式であるため一度休むと言語の不自由さも相まって圧倒的な遅れを取ります。他2つは先生の説明はありますがほとんどがディスカッションの時間のため、言語力はもちろん、話せるだけの知識が必要不可欠です。また、複数の情報から課題が多いことは知っていたのですが、想像以上でした。授業を踏まえた宿題はもちろん、すべての授業で毎週読んでくるように言われる教材があり、それを前提として講義、ディスカッションが行われるため、事前の学習量が日本と比較してこちらは多すぎます。大きな課題もレポートやインタビュー、ビデオを撮って提出するものなど様々です。ディスカッションの授業のうち1つではアジア人が私のみで他の国の学生の異なった文化や生き方を知れたり、その他の授業でも講義形式を問わず自由に発言できるため、自分の意見に対する賛成、反対の声をすぐに聞けたりと日本ではなかなかない経験ができることは良いポイントです。

### 3. ホームステイ

私はStudyVisionというエージェントを介して手続きを行いました。手続きは最初にメールアドレスや電話番号、子供やペットがいたほうがいいかなどを入力しました。私は当初、子供がいる家を希望していたのですが、一度紹介されたところがすでに女性の留学生を受け入れているようだったのでキャンセルされました。StudyVisionでは決まりとして男女が同じホームステイ先になったり同性でも複数の学生が同じ部屋で生活したりすることはないようなので安心できます。平日は朝夜、休日は朝昼晩3食がついて1週間でAUD \$420(日本円で42,000円前後)です。日本人の感覚だと1ヶ月でなく1週間でこれは高すぎると感じるかもしれませんが後に述べるように、シドニーは物価が日本と比較して高めなので、結果論ではありますが、寮で自炊をしながら生活するよりもホームステイを選んで正解であったと感じます。私の場合はホスト

ファミリーに恵まれ、十分な広さの自室があります。家が広々としていてご飯も美味しく、ホストファミリーはフレンドリーで楽しい生活を送っています。また、シドニー大学、西シドニー大学にそれぞれ在籍している中国人の 2 人の学生も同じ家で一緒に生活しており、一緒にホストファミリーが作ってくれた夕飯を食べたりスーパーや海水浴に行ったりとトラブルなく過ごせています。マイナスなことは、いらぬものはいらぬと言わなかったり、苦手なものを笑顔で受け取ったりしていると勘違いされて大変な思いをすることです。また、想像していた以上に本物のオーストラリアングリッシュは聞きにくく、慣れるまでに時間がかかります。私はホストファミリーのオーストラリアなまりをまねて会話し、実際に使われているスラングなどを日常会話に交えることで抵抗をなくして慣れていきました。また、ホストファミリーは当然ながらそこに住んでいる方なので、彼らに周辺の治安やスーパーマーケット、おすすめレストランの情報、バスや電車の使い方を教えてもらいました。

#### 4.安全面

ホストファミリーから、男性でも夜の一人歩きはできるだけしないように言われました。手続きをすれば合法的に銃を買うようで、治安の悪いエリアには違法であっても薬物を使用している人がいて何があるから分からないから不用意に近づかないようにとも警告されました。若者を狙った薬物勧誘もあるらしく、それについても十分気をつけるように言われました。さらに最近金品を狙った住居侵入が多いらしく、家を訪ねてそのまま押し入ったり、ドアをガチャガチャとしてあいている家に入ったりされることがあるなど、必ずしも安全ではありません。また、UTS の友人から、様子のおかしい人や禁止エリアでお酒を飲んでいる人と不必要に目を合わせると絡まれることがあると聞きました。確かに夜は様子のおかしい人がいたり、マリファナの臭いがしたりすることもあります。しかし、今のところ私は何も被害に遭っていないし、街中でスマホを片手によそ見をしている人も、電車のドア付近で片手でスマホを持っている人もいます。確かに日本のように席の場所取りにバックなどの金目のものを置くことは出来ませんが、異様な雰囲気があるなどの身の危険を感じるような体験は今のところしていないため私にとっては安全です。自分がどこまで治安の情報を集め、どこまで安全を重視して過ごすかにかかっています。

#### 5.物価

結論として全てがおおよそ 2 倍です。事前に調べた複数の情報の通り、生鮮食品は基本的に安く、果物やお肉は自炊をする人にとって買いやすい金額です。しかし、大型スーパーであっても 1 本当たりコーラが約 200 円、モンスターエナジーが 400 円以上、おーいお茶 2L が約 800 円、大学付近の豚骨ラーメンは 1 杯約 1,800 円などと日本人の感覚からしたらなかなか買う気が起きません。特に飲み水は、大学内に明治大学にあるようなウォーターサーバーがあるので水筒を買った方が経済的です。私は UTS 内にあるめいじろうショップのようなところで大学ロゴ入りの水筒を購入し毎日持ち歩いています。百均もありますもちろん 100 円均一ではなく、日本で売られているものが高額になったイメージです。一番の違いは住居費用です。一人暮らしをすると週に AUD \$ 500(1 ヶ月で約 200,000 円)以上かかります。大学から一番近い一人暮らしは週 AUD \$ 1,000(1 ヶ月で約 400,000 円)と大変な出費となります。大学が提供している寮は 6 人で生活する最も安いものでも 1 週間で約 AUD \$ 360 するため、自炊の手間と物価からも、寮でなくてホームステイにしたことのメリットを感じます。住居費は割り切って他のところで節約する方が簡単です。

#### 6.UTS

授業が始まる 2 週間前に到着して少し早い気がしていたのですが正解でした。先述の通り、UTS には留学生のためのオリエンテーションがオンラインと対面とで 2 回も受けられます。さらに ActivateUTS というサイトから、授業が始まる前の期間で開催されているパーティーやハイキング、ビーチ巡りに軽い飲み会まで用意されていて予約することが出来ます。そこでオーストラリアにいる学生の雰囲気や文化の違いなどを同じ年代の人と交流することで体験することが出来ました。授業が始まってからも、サーフィン、ヨガ、バレーボール、麻雀など楽しそうなアクティビティが大学を通して同じ世代の学生のボランティアが運営し提供されていたためコミュニティを広げられます。イベントを開催している他の団体やアプリもありましたが、UTS のものの方が安全であると考えます。また、着いてからの 2 週間でシドニーの有名な観光地を一通り訪れましたが、授業と課題の時間を考えると良い判断でした。校舎が近代的かつおしゃれで同じエリアに複数あり、それぞれ特徴があるため、単にキャンパスにいただけでも大変楽しく過ごせます。困りごとに関しては大学内に留学生用相談センター、学習、就職支援などがあり、非常に充実していて、予約不要で気軽に相談することが出来ます。さらに 4 人に 1 人が留学生で、全ての大陸から学生が留学に来ているため文化の違いを日々肌で感じる事が可能です。アジアは中国とインドが多い印象で、アメリカ、ヨーロッパの学生も多くいます。大学側もウリにしている立地と世界ランキングのとおり、どちらも最高で、真面目な学生が多い印象です。他の大学に留学したことがないので比較が出来ませんが UTS に決めて良かったと思っています。